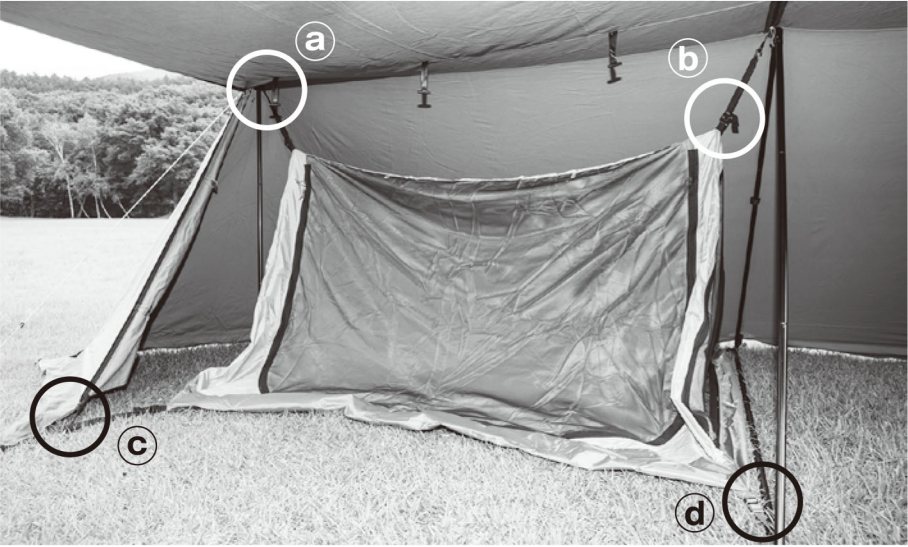
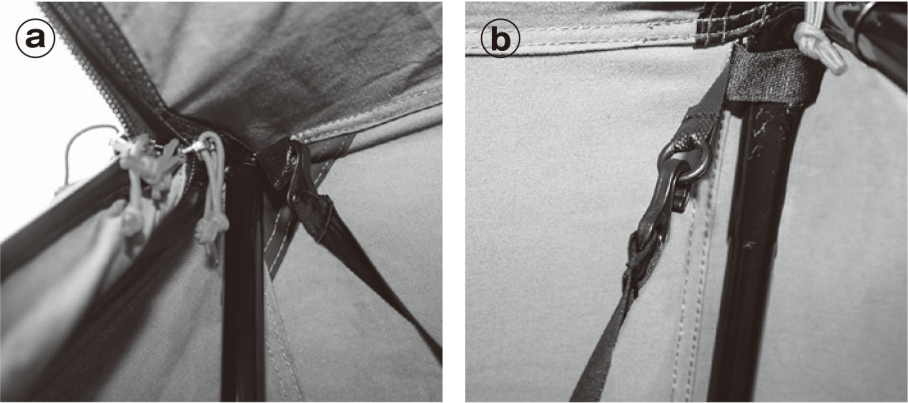


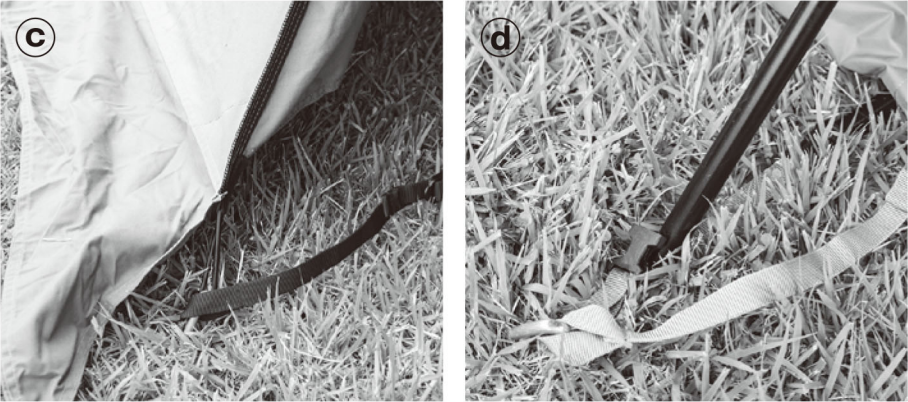
インナーは本体向かって左側に設営します。
右側には取り付け出来ません。



テント本体の天井部分のループにフックを引っ掛けてください。



テント本体のペグにループをセットします。



各箇所をセットしたら床部分4か所のテープを引き、床にテンションをかけます。
その後天井部分2か所を引いて、テンションをかけて整えれば完成です。



セット内容
☐ テント本体 ☐ メインポール×4(本体用2本 キャンピ用2本) 二股ポール×1 ☐ スチール製ペグ×16 ☐ 張り綱×7 ☐ 収納ケース ☐ 取扱説明書(本書)×1

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。
使用前に必ずお読み下さい。また必ず製品と共に保管して下さい。

警告
●ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用して下さい。 ●テント内で火気は絶対に使用しないで下さい。 ●テント内部の照明は電池式のランタンを使用してください。ガスやガソリンのランタンは火災の原因になります。 ●台風、暴風雨の際は絶対に使用しないで下さい。 ●使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避して下さい。
注意

- 快適なキャンプの為に製品の破損や付属品の不足が無いことを確認してから使用して下さい。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用して下さい。
特にお子様が居る場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意下さい。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業して下さい。
- 説明書に従い全ての張り綱を確実に固定した状態でご使用下さい。
- 焚き火のそばなど火が当たる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所で使用しないで下さい。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は褪色や生地の変質が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意下さい。

メンテナンス、保管上の注意
●使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。 ●濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地の変質を早めます。 ●製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。 ●洗濯機で洗わないでください。

コットンに関しまして
●コットン独特の風合いの為、多少の色むら、織傷、織りムラはご了承ください ●織りムラがある場合がございますが、織りムラが原因で水が漏るはございません。ご承知の上お求めください。
販売元 株式会社カンセキ 〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1 http://www.tent-mark.com/ MADE IN CHINA

tent-Mark DESIGNS	炎幕フロンティア ENMAKU FRONTIER
TENT	TM-200128 取扱説明書



tent-Mark DESIGNS	×	BRAVE★WORKS
BRAVE WORKS Collaboration with tent-Mark DESIGNS		

製品サイズ
3,300mm 1,300mm(高) 1,900mm 4,600mm
SPEC

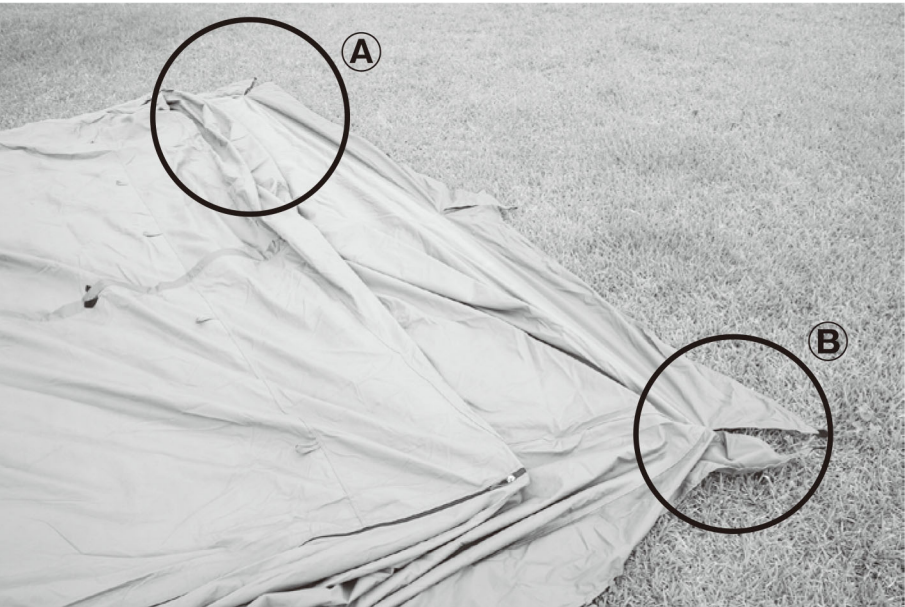
■品番	TM-200128
■品名	炎幕フロンティア
■素材	フライシート:コットン100%(撥水加工) サイドウォール:コットン100%(撥水加工) マッドスカート:コットン混紡生地 (TC)ポリエステル65% コットン35%(撥水加工) 収納ケース:ポリエステルオックス210D(撥水加工)
■組立サイズ	フライシート:(約)4,600/3,300 × 1,900 × 1,300(高)mm
■総重量	総重量:(約)10.16kg(ポール/ペグ/張り綱/収納ケース含む) フライシート:(約)5.08kg ポール:(約)3.53kg 収納ケース:(約)150g
■同梱物	メインポール×4(本体用2本 キャンピ用2本) 二股ポール×1 スチール製ペグ×16、張り綱×7、収納ケース

1 設営前の確認

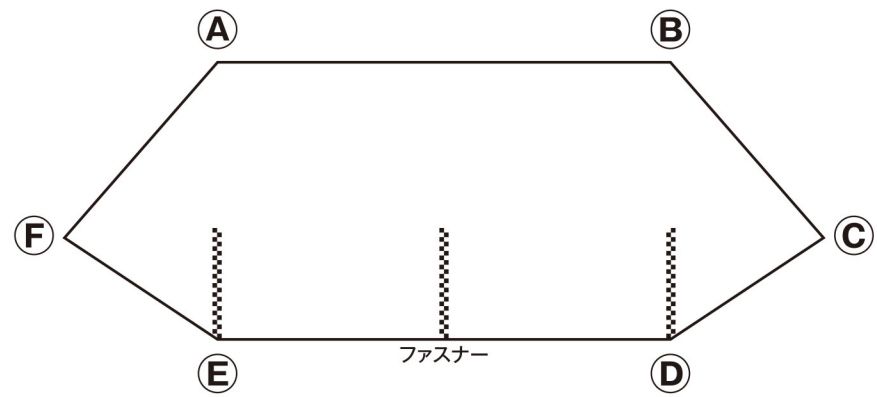
- ・セット内容の確認をして不足や破損、異常がないか確認します。
- ・必ず手袋をして組み立ててください。怪我をする恐れがございます。
- ・気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定します。

2 本体を広げます

ファスナーが3本縦に入っている面がテント正面です。
張る方向を決めたら後ろの角2か所をペグダウンします。



① ②が直線になるようにペグダウンしてください。ここが基準となります。



3 ポールと張り綱をセットし立ち上げます

ポールを両端のグロメットに差し込み、張り綱を張り立ち上げます。



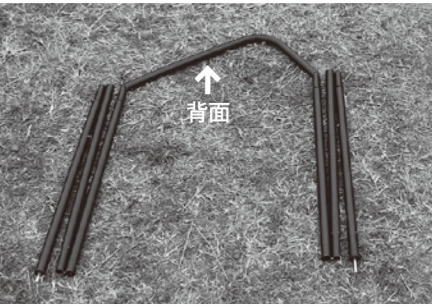
4 他のポイントもペグダウンしていきます

③④⑤⑥をテンションをかけながらそれぞれペグダウンし形を整えます。

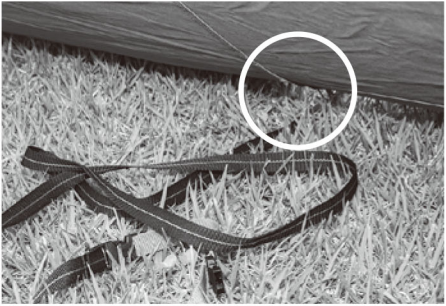


5 中央のポールをセットします

ポールを組み立てます。



への字の長い方がテント背面側になります。



このグロメットにポールの後ろ側を差し込みます。

テント内側に付いているマジックテープでポールを巻き込みます。



下部にあるテープを前に引きグロメットにポールを差し込み、
テント本体とバックルで繋がります。その後ペグダウンして固定すれば完成です。



設営のバリエーション

サイドフラップを使用した状態



サイドフラップを巻き込んだ状態



片方だけ上げた状態



インナー(別売オプション)の設営方法

インナーを広げ前後を確認します。

